令和８年　第３回定例会　一般質問

市政の内実を問う！



◇台湾との交流事業について
◇自転車を取り巻く状況について
◇公共施設の管理について
◇人口減少とスマートシュリンクについて

湯沢市議会ユーチューブチャンネル
一般質問の動画をご覧になれます。

小松（こまつ）　雅（まさし）　議員

◆台湾との交流事業について

質問　継続して実施されている台湾との交流事業の目的と成果について伺う。

答弁　インバウンド誘客や本市産品の販路拡大に加え、青少年の国際感覚育成や本市の国際化や地域全体の活性化を目的とする。台湾からのインバウンド客の増加や、小中学生のスポーツ・文化交流や行政訪問団の来訪などにより行政間の実りある対話の進展につながると考える。

◆自転車を取り巻く状況について

質問　市民の自転車利用の実態と市の認識について伺う。

答弁　日常生活の重要な移動手段である一方、安全性の確保が重要であり、ルールの遵守とマナー向上、防犯登録や賠償保険加入を啓発していく。

◆公共施設の管理について

質問　問題が生じた際の情報共有方法や対応の仕組みについて伺う。

答弁　日常点検で確認した異常や故障は、組織の連絡系統に基づき報告、適切に処理している。緊急を要する場合は使用中止など安全確保を優先し、利用者への影響を最小限に抑えるため、早期復旧に努める。

◆人口減少とスマートシュリンクについて

質問　スマートシュリンクの考え方をどう認識しているか伺う。

答弁　人口が減っても経済社会に悪影響を及ぼさずに社会機能を縮小し、市民一人一人の幸福度が高まるような社会を目指す将来の持続可能なまちづくりを進める上で非常に重要な視点と考える。

ひとこと
的確な現状認識と、それに基づく取り組みを！



外部人材と職員との関係性・共創姿勢を問う



◇外部人材の活用と関係人口の創出・拡大への取組について
◇保険適用外の治療用ミルクに対する経済的支援制度の創設について
◇国際大会出場選手への渡航費等補助制度の創設について

湯沢市議会ユーチューブチャンネル
一般質問の動画をご覧になれます。

会田（あいた）　一男（かずお）　議員

◆外部人材の活用と関係人口の創出・拡大への取組について

質問　地域活性化策として移住・定住の促進において、地域課題を一緒に解決する頼れる仲間としての「関係人口」に期待が高まっているが、現状認識と所見を伺う。

答弁　外部人材の「地域おこし協力隊」の令和7年度までの委嘱者は24名で任期終了後の定住者は7名と全国的に見て、委嘱数・定着率も低く、課題と捉えている。地域を活性化するため、新たな仕組みも構築していく必要があるため、関係人口の拡大策は、極めて重要な取組と認識している。

◆保険適用外の治療用ミルクに対する経済的支援制度の創設について

質問　乳び胸（にゅうびきょう）の患者に対するMCTミルクなどの治療用ミルクに、新たな支援制度を国に先駆けて創設する考えがないか伺う。

答弁　公費による補助対象外となる多くの疾患がある中、特定の疾患のみを対象とする市独自の経済的支援制度の創設は難しいものと考えるが、国等に現行の代謝異常児等特殊ミルク供給事業の医薬品対象疾患拡大を要望し、指定難病の医療費助成を行う県に対しても働きかけていく。

◆国際大会出場選手への渡航費等補助制度の創設について

質問　「スポーツ立県あきた」を目指す県との協調の中で、費用分担も考慮した国際大会の渡航費等補助制度を創設する考えはないか伺う。

答弁　県の施策や支援制度の動向を注視し、対象とする競技や大会の範囲、県との連携の可能性を含め制度の方向性を調査し、スポーツ振興につながる支援の実現に向け議論していく。

ひとこと
基礎自治体は、国・県の下請機関ではない！もっと独自施策を模索しよう！

